

千葉大学医学部附属病院へ受診された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年11月2日

感染制御部・感染症内科

感染制御部・感染症内科では、当院における People living with HIV (PLWH) の薬物使用の実態と特徴に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2014年4月1日～2025年1月31日の間に当院感染症内科外来を6ヶ月以上受診された18歳以上のHIV陽性の方

1. 研究課題名

「千葉大学における People living with HIV (PLWH) の薬物使用の実態と特徴:メタンフェタミン使用とその関連リスクに関する後ろ向き研究」

2. 研究期間

2025年承認日～2030年12月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本邦における一般人口の覚醒剤の生涯使用率は0.5%と報告されています。しかしながら HIV と共に生きる人々における覚醒剤などの違法薬物使用の実態は十分に明らかにされていないため、2014年4月1日から2025年1月31日まで当院感染症内科外来へ6ヶ月以上通院された18歳以上のHIVと共に生きる人々を対象に2025年1月1日までの患者情報を収集し調査します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、人種、性的指向、既往歴、後天性免疫不全症候群の有無、覚醒剤などの

違法薬物使用歴、逮捕歴、外来予約未受診率

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：感染制御部・感染症内科 特任助教 吉川 寛

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院感染制御部部員室の鍵のかかる保管庫において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>）

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

感染制御部・感染症内科

医師 吉川 寛

043（222）7171 内線 6445